

日本語版マニュアル

Orbit Flanger は、BRIGADIER デイレイ同様に dBucket テクノロジーを採用し、ロック史を飾ったヴィンテージ MXR や A/DA のフランジングを克明に描き出します。この代表的な2種類のフランジングに加えて、strymon 独自の「+/-」フィードバックは両位相が入り乱れる立体的なモジュレート空間を生み出します。

また、周波数間のウネリの速度を操る「LFO スイッチ」によって、log・lin・thru 0 (信号のキャンセルが起こるドラマチックなフランジング) など、1台で3パターンの LFO を搭載しています。

ライン入力 (+4dB) にも対応していますので、ミキサーからのインサート等にもご使用いただけます。



コントロール

FEEDBACK スイッチ

pos (+), neg (-), +/- (positive / negative) の3つの位相パターンから選択し切り替えます。

pos: Pos (正相) の設定ではエフェクト信号とドライ信号の同位相になり、高い REGEN 設定が効果的なジェット・サウンドを生み出します。

+/-: Neg (逆相) の設定では空洞的でウェットなサウンドを生み出します。

neg: 独自の +/- の設定では pos 設定と neg 設定を組み合わせ、周波数に依存したフィードバックが入り乱れるニューサウンドが得られます。

LFO スイッチ

log (logarithmic), lin (linear), thru 0 (through zero) の3つの LFO 設定から選択します。log と lin の2つのモードで、クラシックなフランジャー・サウンドを網羅することができます。

log: 均一な速度で周波数間をスイープし、ピッチの変化の目立つサウンドを作り出します。

lin: 高い周波数に向かう時に速度が速くなり、低い周波数に向かう時に速度が遅くなります。

thru 0: 信号のキャンセルが起こるドラマチックなフランジング。エフェクト信号をドライ信号よりも前に出し、より目立つサウンドを生み出します。

SPEED コントロール

フランジャーの LFO スピードを調節します。

WIDTH コントロール

フランジャーの LFO 幅を調節します。

MIX コントロール

エフェクト信号とドライ信号のバランスを調節します。ほとんどのフランジャーには搭載されていないコントロールです。過激なフランジャーのキャラクターを変化させずにバランスだけを調節する機能です。

▲ MIX コントロールを最小値に設定した場合でも、100% ドライ音ではありません。

REGEN コントロール

フランジャーのフィードバック量を調節します。

MANUAL コントロール

フランジャーのディレイ・タイムを調節します。高い設定値では高い周波数が強調されたフランジング効果が得られ、低い設定値では低い周波数が強調されたフランジング効果が得られます。低い Width と高い REGEN の設定時に、インパクトが強くて効果が分かりやすいサウンドが得られます。

BYPASS フットスイッチ

エフェクトのオン/オフを切り替えます。バイパス方式はトゥルー・バイパスです。

FAVORITE (お気に入り) フットスイッチ

スイッチを長押しすると、コントロール・ノブのセッティングがメモリーにセーブされます。FAVORITE スイッチを押して LED が点灯すると、以前にセーブしたサウンドが呼び出されます。

FAVORITE (お気に入り) にセーブしたセッティングを確認する

FAVORITE の LED が点灯時にセーブした設定位置 (ノブの位置) を確認することができます。まず、エフェクトを ON にして FAVORITE を呼び出してください。この状態で各ノブやスイッチの位置を変えると、FAVORITE の LED が点滅を始め、それが停止する位置が発見できます。その位置が FAVORITE (お気に入り) をセーブ時のノブやスイッチの位置です。

FAVORITE (お気に入り) 演奏中にコントロールやスイッチを変えるとサウンドは変化しますが、上書きするまでメモリーされた設定は変わりません。

▲ 新たなセッティングを上書きする時は、FAVORITE スイッチを長押しして下さい。

入力/出力ジャック / EXP ジャック

入力ジャックには、モノラルのアンバランス端子が、出力ジャックには、左チャンネル、右チャンネル用のアンバランス端子がそれぞれ用意されており、楽器レベルおよびライン・レベルの信号を入力出力することができます。入力インピーダンスは1MΩのハイ・インピーダンス、出力インピーダンスは100Ωです。

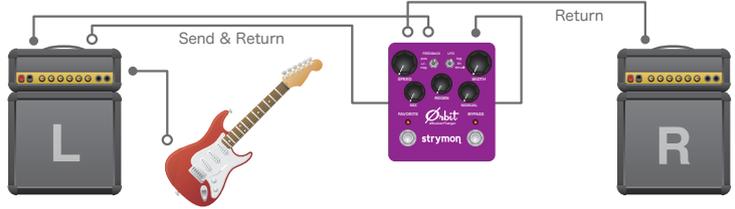
EXP ジャックを使って、TRS 端子のエクスペッション・ペダルを接続し、任意のコントロールを操作することができます。エクスペッション・ペダルを使用する場合、TAP スイッチを押したまま電源をオンにしてください。電源投入後、最初に操作されたコントロールがエクスペッション・ペダルで操作できるコントロールとなります。また、エクスペッション・ペダルでのコントロール範囲は、最小値 ~ ツマミ位置となります。

セッティング例

ギターアンプの前端に本機を設置する接続例です。歪み系のペダルを使用する場合、本機の前に接続するのが一般的です。本機のスtereo出力から、2台のギターアンプへ信号を送ることも可能です。



ギターアンプのエフェクトループに本機を設置する接続例です。L側ギターアンプの Send から本機を経由して、L側とR側両方の Return に戻すことでステレオ仕様にすることができます。



サンプルセッティング



Choral



Grey Box - MXR スタイル



70's Vintage Flanger - ADA スタイル



Swirly



Heart "Baracudda" スタイル



Queen "Keep Youeself Alive" スタイル

モノラル or ステレオ 入出力切替

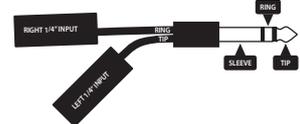
入力ジャックに TRS ジャックを採用しており、本体内部にあるジャンパー・スイッチを切替えることで、入力を Mono / Stereo に切替えることができます。スイッチは本体の裏蓋を外した中にあります。

ステレオで入力する場合には、TRS ステレオ入力ケーブル (Y 字ケーブル) を使用してください。

(※ 初期型は TRS プラグによるステレオ入力はできません。)

モノラル入力 (デフォルト): 右2つのピンをジャンパーしてください。

ステレオ入力: 左2つのピンをジャンパーしてください。



スペシフィケーション

入力インピーダンス	1MΩ	出力インピーダンス	100Ω
S/N 比	110dB	周波数特性	20Hz ~ 20kHz
A/D & D/A 性能	24bit 96kHz	DSP パフォーマンス	1596 Mega FLOPS
最大入力レベル	+8dBu	バイパス	トゥルー・バイパス
入力電圧 (パワーサプライ)	9VDC センターマイナス、250mA		

この度は、DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。本製品は、DAMAGE CONTROL 日本総代理店・株式会社オールアクセスが購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書 (購入期日及び販売店捺印必須) を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。本書に記載された文章、図版は全て「著作権」及びそれに付随する「著作権接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用のみを許諾しております。